

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	20 / 2006 / 58
タイトル	【報告】第1回「森の広場市民観察会」
著 者 名	編集部

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

【報告】第1回「森の広場市民観察会」

(編集部)

昨年度の総会で決まった事業として野外観察会を年3回ほど実施、市民一般への自然理解に役立てることになった。その第1回を青森市新城にある青森市所有の「森の広場」を会場に、5月14日(日)、午前10時～昼0時30分のスケジュールで実施した。主催は「森の広場市民観察会実行委員会」で、これには青森市内8団体が参画し青森市生涯学習課と数回にわたる念入りな打合せのもとに実施された。「やぶなべ会」は準備段階から諸準備やPRチラシ、B5判14頁オールカラーの観察手引書を用意するなどして中心的な役割をはたした。

当日の参加者は112人、これに各団体の専門家34人が指導にあたった。佐々木誠造青森市長は、開会式の挨拶に始まって市民とともに全行程を熱心に観察してまわった。最初は曇り空で冷たかったが、間もなく五月晴れの絶好の観察日和となり参加者は淡い緑に芽吹いた森のなかで、思い思いの発見に歓声をあげていた。

終点の小高い丘の芝生に坐りながら、参加者は夏とか秋にもやって欲しいと観察会の感想を話し合っていた。市長は締めくくりの挨拶で、この森の広場での本格的な観察会は初めてのことで、関係団体の労をねぎらい、一番嬉しかったのは次代を担う子供達がたくさん参加してくれたこと、などずっと住みよい青森の環境を守っていこうと呼びかけていた。



佐々木青森市長(左端)の挨拶。市民・スタッフ合わせて150人が五月晴れの森の自然を堪能した



コース中間地点にある池には産まれて間もないアズマヒキガエルの卵塊がいっぱい。こども達の歓声があがった